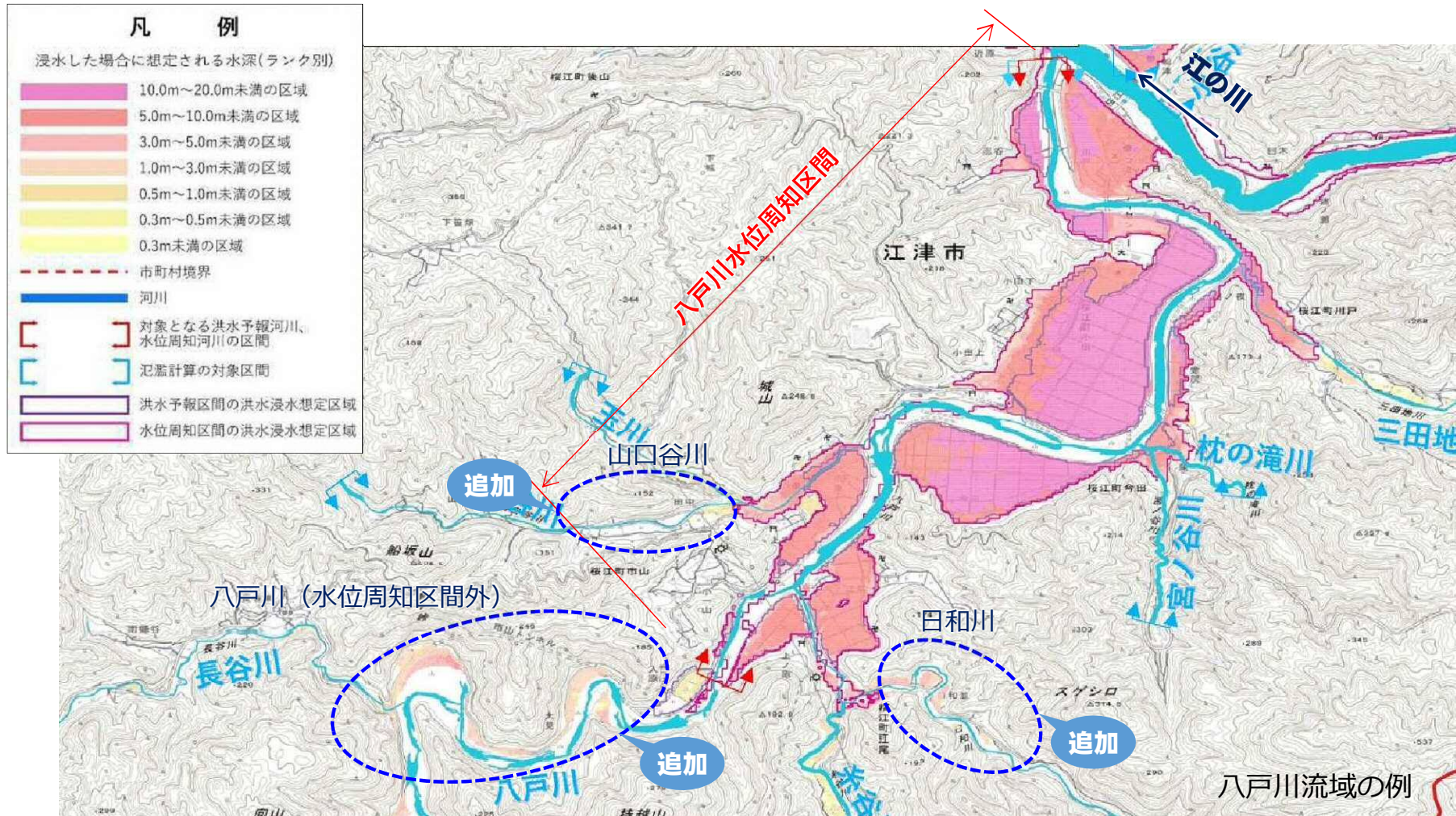


- 令和3年7～8月の大雨では、県内の広範囲で河川が氾濫したため、水位計と河川監視カメラの増設を行うこととした。
- 設置にあたっては、市町の意見を取り入れ、江の川支川においては、令和4年度に、水位計1基、河川監視カメラ5基を新設した。
- 新設箇所の水位データ、カメラ画像のインターネット公開は令和5年5月からの予定。



- 令和3年の改正水防法により、水害リスク情報空白域の解消を目的に、全河川において浸水想定区域図およびハザードマップの作成・公表が義務化された。
- このため本県では、管理する全596河川で作成することとし、江の川支川123河川については、令和5年3月に作成を完了し、その後速やかに公表する。



- 浸水の危険性のある地区に、企業、自治体が浸水・越水センサーを設置しリアルタイムに状況を確認することで、流域内の災害対応力の向上を目指す。
- 浸水・越水センサーは小型、長寿命かつ低コストで多数の設置が可能。



浸水センサ設置のイメージ  
(邑智郡川本町因原地先)

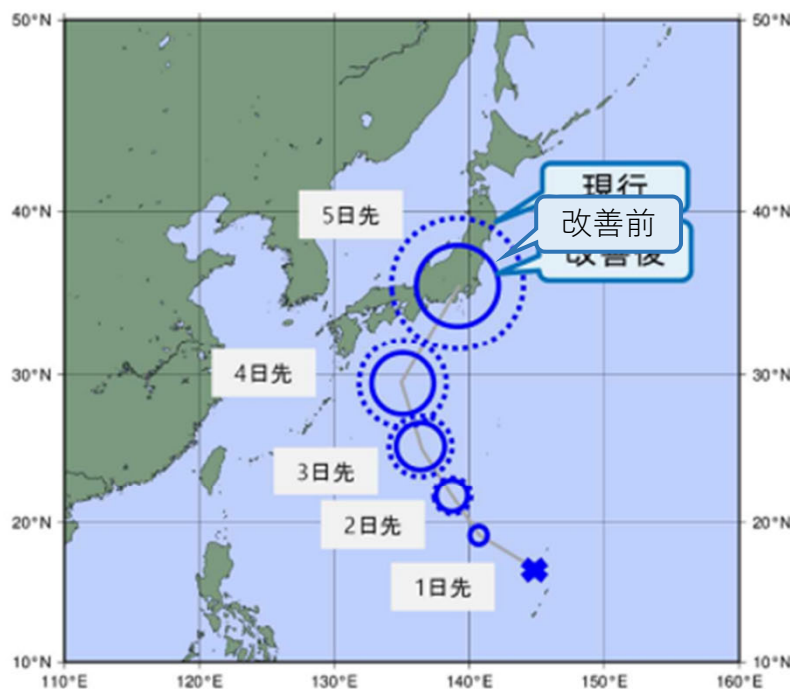
# 台風予報円及び暴風警戒域をより絞り込んで発表

令和5年  
6月26日～

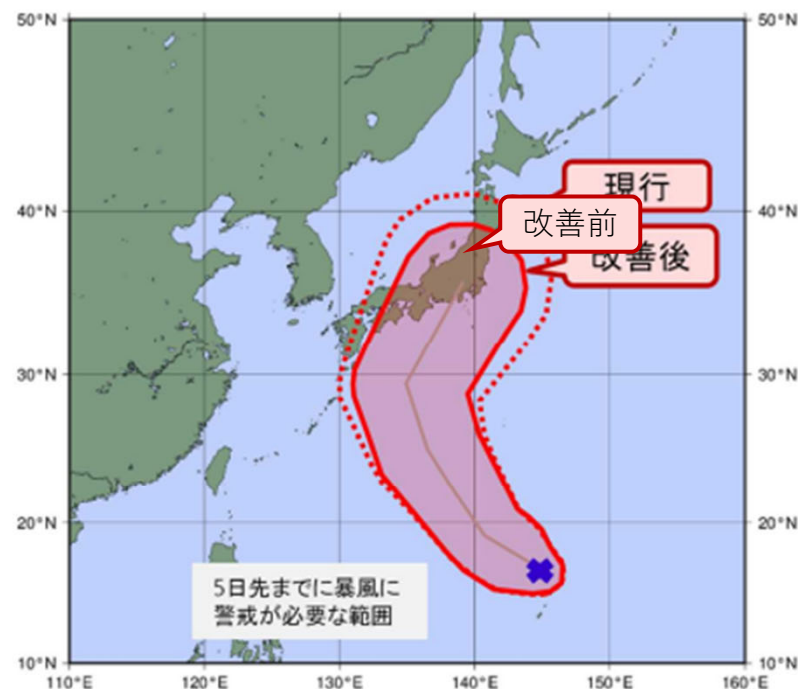


- 数値予報技術等の改善により台風進路予報の精度が向上していることを踏まえ、台風進路予報の予報円の大きさ及び暴風警戒域を現在よりも絞り込んで発表するよう改善
- 特に、3日先以降の予報円が大きく改善し、5日先の予報円の半径はこれまでと比べて最大40%小さくなる

予報円・暴風警戒域の改善イメージ  
(令和元年東日本台風の例)



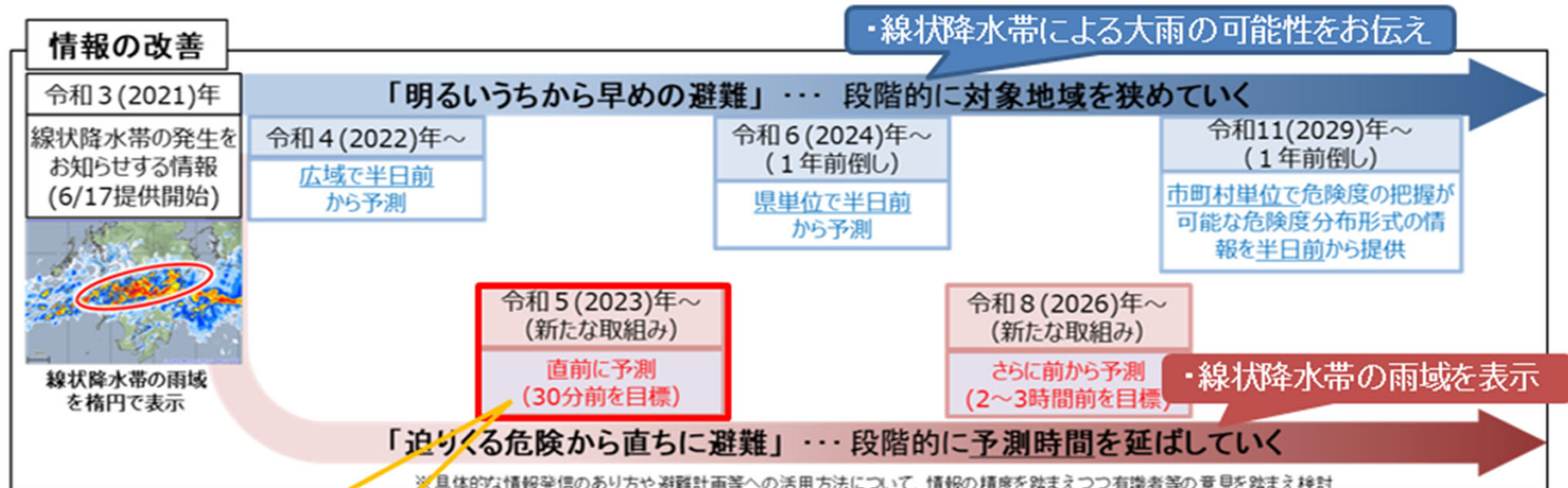
予報円の改善イメージ



暴風警戒域の改善イメージ

# 顕著な大雨に関する気象情報を、より早く提供

令和5年  
5月25日～



## 「顕著な大雨に関する気象情報」の発表

改善前: 線状降水帯の発生 改善後: 従前 より30分程度早く、全自動で発表  
予測技術を活用し、線状降水帯による大雨の危機感を少しでも早く伝えることを目指す。

顕著な大雨に関する〇〇県気象情報 第1号

令和5年〇月〇日〇〇時〇〇分 〇〇气象台発表  
 (見出し)

これまでの情報文と同じ

〇〇地方、〇〇地方では、線状降水帯による非常に激しい雨が同じ場所で降り続いています。  
 命に危険が及ぶ土砂災害や洪水による災害発生の危険度が急激に高まっています。

(本文)

なし

# 自治体支援の強化

## <新たに配置された4つの役職>

### ①気象情報基準評価係

### 特別警報・警報基準の見直し



各市町村の地域ごとの災害特性に即した大雨特別警報等の基準値の設定・運用・検証・改善

### ②流域治水対策係

### 流域治水協議会等への対応



流域治水協議会に参画し、各河川流域の災害特性に特化した気象資料の提供や技術的助言

### ③要配慮者対策係

### 新たな高齢者や障がい者等の避難に関する計画作成等の支援対応



要支援者の避難に関する計画策定への助言や内容を特化した普及啓発

### ④リスクコミュニケーション推進官

### 多様な分野に対しての新たなリスクコミュニケーションの推進



情報受け手側との対話を通じて、情報発信の改善や防災意識向上の取組

※いずれも緊急時はJETT（気象庁防災対応支援チーム）要員

## <流域治水対策係による取組>



# 江の川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】(江の川下流)

～中国地方最大の河川における多様な流域治水対策の推進～

## 被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策(江の川下流)

### ■避難所受付の迅速化(美郷町デジアナ構想)

国のデジタル田園都市国家推進交付金を活用して、マイナンバーカードをつかった避難所受付の迅速化を実施予定(R6年度実装)

避難者は避難所にマイナンバーカードを持参し、カードリーダーで読み取ることで、本人の氏名、住所、年齢等が自動的にシステム登録され、紙に記載することなく避難所への受付を行うことが可能となる。

これにより、避難所での行列の解消や、災害対策本部での避難者の把握の容易化に繋がる。

### 避難所受付システム

サービス内容

- 避難所入退出管理
- 各避難所開設状況
- リアルタイム混雑状況
- 各避難所の避難者リスト

- 避難所の混雑状況の見える化  
(スマートフォンでの確認が可能)
- 地図上で避難所の開設状況、混雑状況の見える化  
(自治体職員による避難所状況の把握、設定が可能)
- 避難者名簿のリアルタイム管理  
(町民がマイナンバーカードで避難者情報を登録)
- 電子化された避難者名簿の確認  
(自治体職員に限定した機能)

### 美郷町 町民

- ✓ 各避難所の混雑状況を確認
- ✓ 適切な避難所選択を支援

### 避難所

- ✓ 避難所に設置のマイナンバーカード読み取り機器をかざして、短時間で避難者情報登録
- ✓ 入所、退所の管理

### 災害対策本部

- ✓ 避難所の混雑状況を確認
- ✓ 避難者名簿確認

## 被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策(江の川下流)

### ■ドローンによる災害支援物資の運搬(美郷町)

#### ①佐川急便との取り組み

江の川の増水による道路分断による、その先の孤立した集落への救援物資輸送を想定した訓練を実施。

ドローンポートカー(ドローンを載せた車で、車の天井が開き、そこからドローンが離発着)にドローンと救援物資を積載し、避難所に配送しようとしたところ、途中道路が分断されていたため、そこから急遽ドローンに救援物資を載せて運び、避難所へ物資を輸送した。

(最大積載量5kgまで)

#### ②古河電工との取り組み

大型ドローンによる重量物運搬の実証実験を実施。最大積載量49kgのドローンを使って、防災公園から吾郷公民館まで飲料水(500mlペットボトル48本:24kg)を運搬

### ■佐川急便実証



### ■古河電工実証

